

# 個人サンプラー用ホルダー PM4 NWPS-254

## 取扱説明書

### ⚠ 使用前に

- △ 本製品は吸引流量 2.5 L/min の PM4 ホルダーです。本書に記載された以外の用途に使用しないでください。
- △ 本製品は精密加工品です。くれぐれも取り扱いにご注意ください。特に、吸引口を傷つけたりしますと、著しく性能を維持できなくなります。
- △ 本製品は多数の部品で構成されています。慎重にお取り扱いください。
- △ 『改造修理禁止』 分解や改造等をした場合は、当社の保証外となりますので絶対にしないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因となることがあります。

### ■ 概要

本製品は吸引流量 2.5 L/min の PM4 ホルダーです。本製品に吸引ポンプを取り付け、2.5 L/min で吸引すると、粉じんを PM4（粒径  $4\mu\text{m}$  50%カット）の特性で捕集することができます。

### ■ 仕様と構成

品目コード	080150-254
型式	NWPS-254
吸引流量	2.5 L/min
使用温度範囲	0~40℃
分粒特性	PM4 ( $4\mu\text{m}$ 50%カット)
使用フィルター	$4\mu\text{m}$ 50%カット以上 $\phi$ 25 mm 金属捕集板 (SUS) $4\mu\text{m}$ 50%カット未満 $\phi$ 25 mm PTFE バインダーフィルター
付属品	グリスガイド、接続チューブ内径 $\phi$ 7×外径 $\phi$ 10mm 1m

本製品は、以下の部品で構成されています。

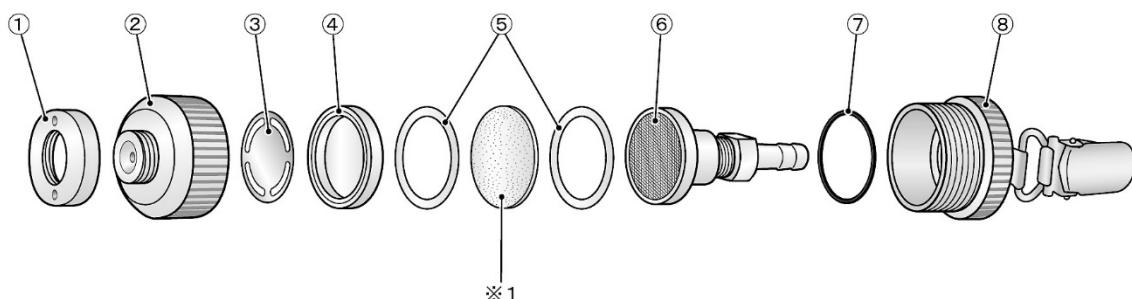


図1 ホルダー組立順序

- ① ノズルカバー
- ② ノズル
- ③ 金属捕集板
- ④ スペーサー
- ⑤ PTFE パッキン
- ⑥ 金網、フィルターベース、チューブコネクタ
- ⑦ O リング
- ⑧ ホルダーベース
- ※1 PTFE バインダーフィルター（別売品）

## ■測定方法

1. PTFE バインダーフィルターの質量を天秤で秤量し、記録しておきます。
2. 捕集板は中性洗剤溶液に浸し、表面の汚れを除去した後水洗いし、次に精製水ですすぎ、さらにアルコールで浸してから脱脂したガーゼで拭きます。
3. 図2のようにミクロスパーテルでグリスを取ります。この時、グリスは容器内で十分に混ぜてからご使用ください。



図2

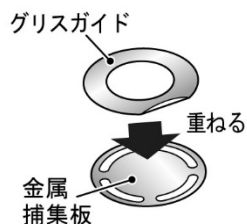


図3

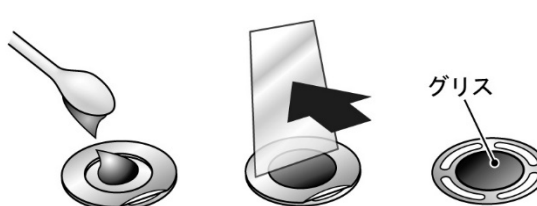


図4

- 当社推奨のグリス (080150-011、080150-012) は、2種類を混合しています。保管中に分離することがありますので、よくかき混ぜてからご使用ください。

4. 図3のように金属捕集板とグリスガイドを重ね、グリスをほぼ中央に付けます。
5. 図4のようにグリスの表面をヘラで平らにします。
6. 金属捕集板からグリスガイドを静かにはずし、その後、金属捕集板を正確に秤量します。  
( $4\mu\text{m}50\%$ カット以上の粉じんの評価を行わない時は、金属捕集板の秤量の必要はありません)
7. 秤量した PTFE バインダーフィルターと、金属捕集板を図1の順序に従ってホルダーにセットします。
8. 吸引ポンプにホルダーをつけた状態で  $2.5\text{ L/min}$  になるように調節して、捕集します。
9. 捕集終了後、ホルダーを慎重に持ち帰り、PTFE バインダーフィルターの秤量をします。  
( $4\mu\text{m}50\%$ カット以上の粉じんの評価も行う時は、金属捕集板の秤量も行います)

## グリス (別売)

PM4 ( $4\mu\text{m}50\%$ カット) 以上の粒子を捕集する金属捕集板面で粒子の再飛散を防ぐためにグリスを塗布します。分粒装置のノズルを通過する空気は非常に高流速であり、この高流速のためにグリスが流れたり、飛び散ってはいけません。そのため粘度の高いグリスを使用します。推奨グリスは当社で用意しており、塗布用のヘラ等器具を付属したものもあります。

## ■別売品一覧表

品目コード	品名	数量
080150-011	サンプラー用グリスセット (シリコングリス、ミクロスパーテル、ヘラ)	1式
080150-012	シリコングリス	1コ
080130-098025	PTFE バインダーフィルター TF98R $\phi 25\text{mm}$	100枚
080860-304	ミニポンプ MP- $\Sigma$ 300N II	1式
080860-5050	ミニポンプ MP-W5P	1式

 **柴田科学株式会社**

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)  
 0120-228-766 FAX 048-933-1590  
フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>